

障がい者における健康増進、二次的障害の予防における取組



【池袋キャンパス】健康メディカル学部 理学療法学科 講師

泉 美帆子 Izumi Mihoko

URL : [帝京平成大学 教員業績紹介ページ](#)

キーワード : 障がい者・健康増進・二次的障害・パラスポーツ



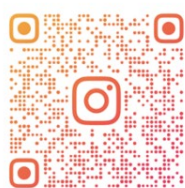
研究の概要

SDGs 目標 3 : すべての人に健康と福祉を

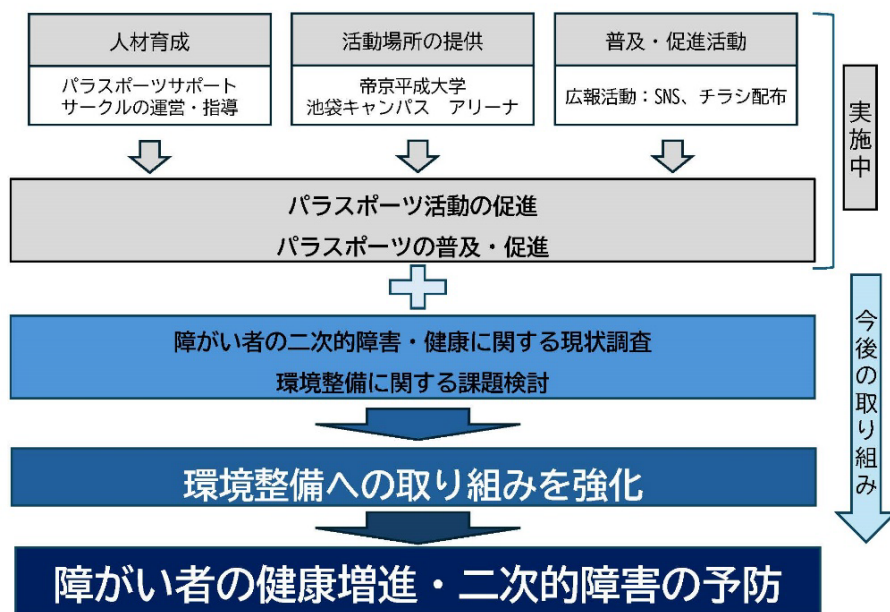
SDGs 目標 10 : 人や国の不平等をなくそう

障がい者は、障害に起因する一次的な機能障害・活動制限以外に、障害があることで褥瘡や易骨折性、耐糖能異常といった健康上の問題が発生しやすいことが判っています。この二次的に発生する健康問題は、理論的には適切な対処をすることで予防できるとされていますが、予防できず健康を害し、社会生活の継続が困難になることが多く見受けられます。

現在、健常者への健康増進は発展・浸透してきています。しかし、障害があると、環境、特に人的環境の整備が必要なため、健常者と同様に気軽に健康増進活動をすることが困難です。現在、障がい者が健康増進のために、運動をしやすい環境づくりから取り組んでいます。今後は、障がい者の二次的障害・健康に関する現状を調査し、健康増進に必要な環境整備について検討・提案していく予定です。このような取り組みにより、障がい者が社会から置き去りにならないことを目標にしています。



@THU_PARASPORTS
人材育成の場である
本学公認サークル
ENJOYでは、活動を
Instagram(QRコード)
で報告しています。



実学へのつながり・産業界や自治体へのアピールポイント・協力可能事項・協力希望事項

共生社会の実現に向けては、障がい者への取り組みをおこなうことが必須です。障がい者は、人間ドックや運動などの健康増進活動から「置き去り」にされやすいです。本取り組みは、すでに活動（実装）を開始しており、共生社会の実現・SDGs へのつながり、障がい者の健康増進・介護予防への取り組みになると考えています。

知的財産・論文・学術発表など（詳細は右上 QR コードの教員紹介からご確認ください）

- ・「ポリオ罹患者の等尺性収縮運動における Borg CR-10 (Category ratio Scale) の妥当性と信頼性」
- ・「脊柱に変形を有した脊髄損傷症例へのシーティングの一考察」

【科研費】脊髄損傷者における座位姿勢と臀部のずれ力—座面傾斜と背もたれ傾斜の影響—